

空 模様

校長 奥村 美由

12月になりました。1年で最も昼の時間が短いころです。その分、日中のお日様の暖かさは貴重に感じます。

空気が澄むこの頃、昼間だけではなく朝焼け、夕焼け、星空も素敵です。海、山共に自然豊かな三浦半島では、東雲色に明けていく東の空も、金色に染め上がる西の空も、どこからでも見られます。さらにこの季節しか手に入らない時間が早朝の星空です。日の出が6時半ごろのこの季節、5時ごろ起床する私はカーテンを開けた窓の向こうの星空に誘われて、つい外に出てしまいます。私がしっかりと認識できるのは、オリオン座に北斗七星、カシオペアぐらい。冬の星座はおおいぬ座、こいぬ座、ふたご座、ぎょしゃ座、おうし座・・・などたくさんありますが、何が何やらわかりません。点描の星々をつなぎ、星座をイメージした昔の人の想像力に感心してしまいます。

武山養護学校から見える空もこの時期は最高です。抜けるような青空に、飛行機がゆっくりと横切っていくのがよく見えます。どうやら三浦半島は、空路の下に位置するようです。また、夕日は校舎2階の渡り廊下からよく見えます。急速に暮れる夕方の空に星が瞬きます。四季折々、時間ごとに変わる空模様は「ここに学校があることのお得感」を増してくれます。

その空の下、本校も創立40年を迎えます。空も、海も、山もずっと変わらず本校の子どもたちの育ちを見守ってくれていたように思います。長く時間を過ごす場所の環境は、人格にも影響を与えるような気がします。本校の子どもたち、とても素敵な笑顔をしています。笑顔を育む一つに、この三浦半島の空模様があるように感じています。

2学期終業式の22日、武山養護学校40歳もお祝いします。これからも変わらずこの空の下、元気な声を響かせていきましょう。

